



平成 20 年 3 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社ファーマフーズ
 代表者名 代表取締役社長 金 武祐
 コード番号 2 9 2 9 (東証マザーズ)
 問 合 せ 先 取締役経営企画部部長 皿谷和久
 T E L 0 7 5 - 3 9 4 - 8 6 0 0

中間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 9 月 12 日の決算発表時に公表した平成 20 年 7 月期（平成 19 年 8 月 1 日～平成 20 年 7 月 31 日）の中間業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 20 年 7 月期の中間業績予想の修正（平成 19 年 8 月 1 日～平成 20 年 1 月 31 日）

（金額単位：百万円）

	売 上 高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想（A）	499	132	116	116
今回修正予想（B）	359	289	271	284
増 減 額（B - A）	140	157	155	168
増 減 率（％）	28.0			
（ご参考） 平成 19 年 1 月中間実績	353	165	142	107

2. 修正の理由

以下の理由により、中間業績予想を修正いたします。

- (1)主力製品であるファーマギャバ®の国内での売上が伸び悩んだこと、及び韓国大手乳業メーカーで昨年に発売された商品の本格展開が今春に遅延したこと等により売上高が減少したため
- (2)経費につきましては、次世代製品等を創出するため研究開発費の支出が継続していること、前期以前に取得した設備の減価償却費の計上が継続すること、及び海外展開を視野に入れた管理費の支出があったこと等により、前期同様の支出で推移し、営業利益を圧迫したため

なお、平成 20 年 7 月期（平成 19 年 8 月 1 日～平成 20 年 7 月 31 日）の通期業績予想につきましては、当社の売上が比較的下期に集中すること、鶏卵抗体が韓国大手乳業メーカーの本格販売開始により受注の回復を見込めること、国内の流通大手で P B 商品への今春以降の採用が見込まれること等により、当初計画を達成できる見込であります。

当社といたしましては、経営の根幹に係る研究開発部門・バイオメディカル部門の再編成や営業戦略の強化を図ることに加え、製品製造管理の徹底、指揮命令系統や責任の明確化など、企業体質の改善に取り組んでまいります。また、経費の圧縮や合理化を進め、強い危機感をもって業績の回復、向上に注力してまいります。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上